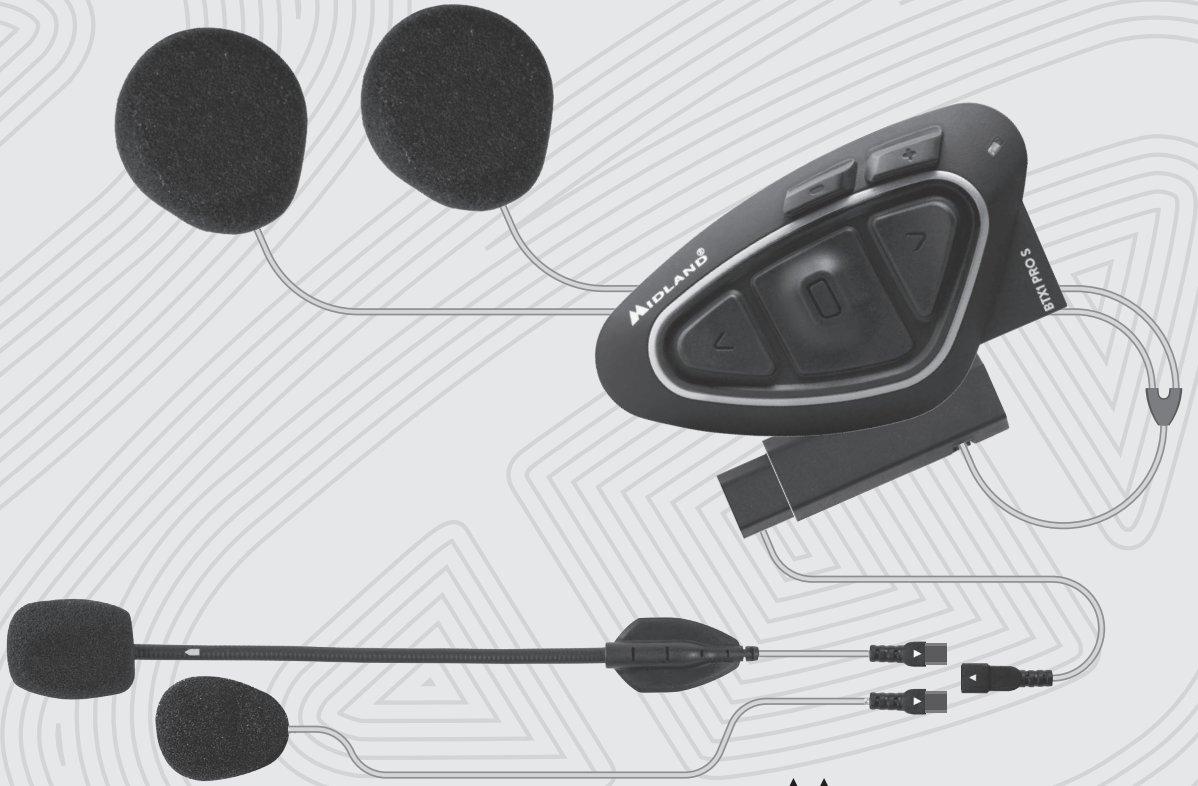
› マニュアル

Bluetooth

アドバンスモデル グループ通話対応

BT X1 PRO S



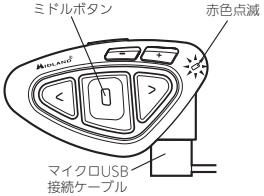
※本体のバージョンアップ等により、仕様が変更となる場合があります。

MIDLAND

BTX1PROSをご購入いただきありがとうございます。

まず音を聞いてみましょう

①インカム本体を充電しましょう。
付属のマイクロUSBケーブルを使いパソコンまたは、USB充電器に接続してインカムの赤いランプが点滅していることを確認します。



※充電が完了すると青色LEDが点灯します。

②インカム本体とスライドマウントを合体、スピーカーがついていることを確認し、ヘルメットにつける前に音を聞いてみましょう。

スマートフォンの場合

③インカムのミドルボタンを約7秒押してください。
赤いランプが点灯します。

④インカムの⊕ボタンを約3秒押します。赤色青色LEDの早い交互点滅になります。
Bluetooth設定を行います。

⑤スマートフォン側のBluetooth設定をONにします。検索後、「Midland BTX1 PRO」を選択します。

⑥セキュリティコードを要求された場合は「0000」を入力します。

⑦音楽を再生してみましょう。

FMラジオの場合

③まずインカムのミドルボタンを3秒押して電源を入れます。
起動確認後、インカムのミドルボタンを約3秒押して、FMラジオモードに切り替えます。

④ミドルボタンがラジオのON-OFFです。

⑤ONにして◁フォワードボタン、▷バックワードボタンを押して選局します。

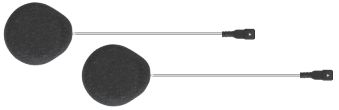
⑥FMラジオを再生してみましょう。

内容物の確認をしましょう

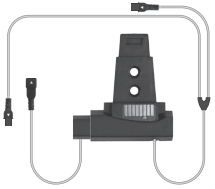
●インカム本体:2(1)セット



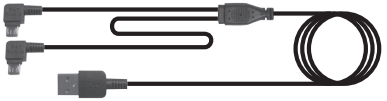
●高音質Nd Hi-Fi スピーカー:2(1)セット



●スライドマウンティングキット:2(1)個



●マイクロUSB 接続ケーブル:1 本



※ツインパックは1対2のケーブルが1本
シングルパックは1対1のケーブルが1本付属します。

●ブームマイク
ジェット型ヘルメット用:2(1)本



●ヘルメット固定用ブラケット
(粘着シートタイプ):2(1)個



●ワイヤードマイク
フルフェイス型ヘルメット用:2(1)本



●ヘルメット固定ブラケット
(クランプ型タイプ):2(1)個

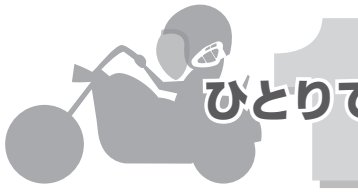


●六角レンチ:1(1)本

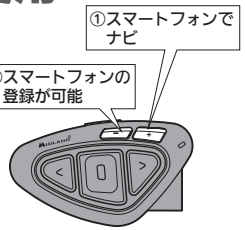
※個数:ツインパック(シングルパック)
※仕様は予告なく変更となる場合がございます。

インターカムモード

会話をするのは、都度一人の通信です。
常に１対1の通信方式にて使用します。
ご購入のインカム商品は、ミッドランド２人、他社１人を登録する事が可能です。
テレビのリモコンにてチャンネルを切り替えるように、押した相手と接続をして（個別に）話す事が出来る通信方式です。
バイクでの移動中、通常はご自分の好みの情報/音楽を聴き、必要な時にのみ、会話をする事に適したモードです。
登録する相手は３人まで可能ですが、同時に話が出来るのは一人です。



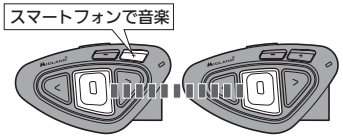
ひとりで使用



①スマートフォンでナビを聞く
②スマートフォンの登録/電話待ち受け可能
①を聞きながら②の着信音も聞けます。

⊖に登録するスマートフォンの着信/応答は可能ですが、ナビ/音楽再生はできません。

ミュージックシェアー



⊕に登録した音源をパッセンジャーにステレオ音源のまま送ることができます。この際、インカム通話はできません。ミドルボタンを押してインカムモードに切り替えが必要です。

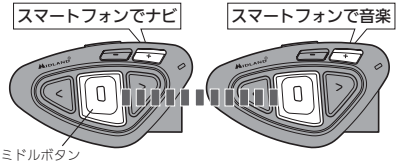


タンデム使用または バイク2〜3台で使用

それぞれ個々に好みの音楽を聞き、必要なときに話す。
※個々の最大通信距離は800mです。

【ヒント】
⊕に登録されたスマートフォンの音声を個々に聞くことができます。

【ヒント】
インカム通話着信があった場合はスマートフォンの音声を中断し、会話をスタートします。



グループ通話モード

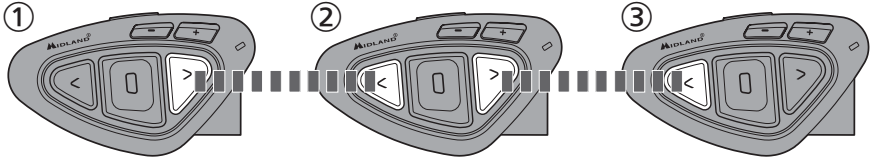
登録したメンバーと常に回線を開ける事が出来るモードです。
通話時は、ペアリングしている３台までの回線が常に開いていて
誰かが話しているのが聞こえてくる状態です。
３人の中で、特定の誰かと話す事が難しく、常に回線がオープンになっている事が特徴です。
話すたびにボタンを押さなくて良い事、グループ皆で共通の話ができる事がメリットです。

※ボリューム⊕/⊖に登録された機器は、グループ通話時、使用できません。

バイク2台～3台で使用



例：3人でグループ通話が可能



P12に記載のチェーン構成でペアリングを行った上で、グループ通話モードに設定してください。
※②がいなくなると①と③は会話ができなくなるシステムです。

※個々の最大通信距離は700mです。
※携帯電話の登録は可能

目次

BT X1 PRO S Intercom Systemの特徴 6
安全にお使いいただくために 6
各部の名称 7
使い方 7
操作モード 9
ペアリングのしかた 10
インターカムの使用方法 12
携帯電話/ミュージックプレイヤー/ナビとの
ペアリング（Bluetooth） 14
GPSナビ／レーダーとのペアリング（Bluetooth） 16
ペアリング情報のリセット 17
FMラジオを聞く 17
ボリュームの調整（AGC機能） 18
その他の機能 18
こんなときは？ 19
アクセサリー 20

BT X1 PRO Sインターカムシステムをご購入いただき誠にありがとうございます。

故障かな？と思ったら、19ページの「こんなときは？」に該当する症状がないかご確認ください。それでも正常に動作しないときは、販売店にご相談ください。

BT X1 PRO S Intercom Systemの特徴

- シングルコアシステム
- 大きな３つのボタンでかんたん操作
- 高音質Nd Hi-Fi スピーカーを使用したハイクオリティーな音質
- 周囲の雑音やスピードに応じボリュームを自動コントロール（AGC機能）
- 最大通話距離：800m（インターカムモード時）／700m（グループ通話時）
  ※妨害電波が無く、相手が見通せる環境下
- 最大3台（ミッドランド社製：2台 他社製1台）までインカムを登録
- Talk2All-Universal Intercom機能（他社のインターカムとの通話が可能）
- Bluetoothデバイスとの接続
  ※ スマートフォン、GPSナビ等のBluetooth搭載デバイスと接続できます。
- ミュージックシェア機能（ライダーとパッセンジャー）
- GPSナビと接続して音声案内
- ワイドFMラジオ対応（6ステーションメモリー）
- 3人同時に通話可能（ライダー3人）
- イコライザー機能（BTアップデータプロで調整できます。）
- 本製品は「TELEC」認証済みの製品です。

安全にお使いいただくために

安全かつ効果的な取り扱いが行えるように、次の見出しを使用しています。
見出しの意味を十分にご理解の上、正しくお使いください。

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容。

●シンボルマークの意味

このマークは禁止の行為であることをあらわします。	このマークは指示を守ることをあらわします。

⚠ 警告

本製品はオートバイ用のインターカムです。
本製品を道路上で使用する場合は、各地方自治体の条例、各都道府県の道路交通法に従ってください。

大音量を聞きながら運転しないでください。
運転に必要な様々な音が聞き取れなくなり、重大な事故の原因となります。
また、音に集中すると運転意識の低下につながります。

医療機器などの近くでは電源を切ってください。
Bluetoothの電波は微弱ですが、医療向け計測器、心臓ペースメーカーなどの近くでは使用を控えてください。

飛行機の中では使用しないでください。
電波が影響を及ぼし、事故の原因になる恐れがあります。

本製品を分解・改造しないでください。
感電や火災、やけどの原因になります。

本製品の内部に金属物、水などの液体、燃えやすい物質、薬品などを入れないでください。
回路がショートして火災の原因になります。

⚠ 注意

本製品から異臭や音がしたら、ただちに使用を中止してください。
そのまま使用し続けると、ショートして火災の原因になるおそれがあります。

高温多湿になる場所での充電、放置は避けてください。
発熱、破裂、発火、感電、本体の変形、故障の原因となるおそれがあります。

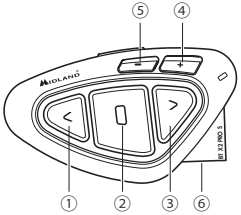
長時間水がかかる場所で使用／保管または水没させないでください。
また、本体が濡れた状態や濡れた手でマイクパーツや接続パーツの脱着をしないでください。本体内部に水が入った場合、出来るだけ早く電源を切り、よく乾燥させてください。
発熱、破裂、ショート、発火、感電、故障の原因となります。

本体に無理な力をかけないでください。
無理に力をかけると破損や故障の原因になります。

本製品を廃棄する場合は、各自治体の条例に従ってください。
内容については各自治体にお問い合わせください。

各部の名称

■本体



①フォワードボタン
②ミドルボタン
③バックワードボタン
④ボリューム⊕
⑤ボリューム⊖
⑥チャージ端子
マイクロUSB接続ケーブルを接続し、充電します。
※パソコンと接続して、ソフトウェアアップデートを行うときにも使用します。
※別売の音声入力用オーディオ接続ケーブル（C1255）はBT X1 PRO Sには使用できません。

■付属品　※（ ）‥シングルパック

- ●オーディオキット：2(1)セット
  - ・高音質Nd Hi-Fi スピーカー
  - ・ブームマイク
    ジェット型ヘルメット用
  - ・ワイヤードマイク
    フルフェイス型ヘルメット用
- ●スライドマウンティングキット：2(1)セット
- ●ヘルメット固定用ブラケット（粘着シートタイプ）：2(1)個
- ●ヘルメット固定ブラケット（クランプ型タイプ）：2(1)個
- ●マイクロUSB接続ケーブル：1本
- ●六角レンチ：1本

※仕様は予告なく変更となる場合がございます。

■仕様

- ・Bluetooth4.2 (HFP/HSP/A2DP/AVRCP)
- ・シングルコアシステム
- ・防水対応（IPX6相当）
- ・最大通話距離：800m（インターカムモード時）
  700m（グループ通話時）
  ※妨害電波が無く、相手が見通せる環境下
- ・連続通話時間：最大20時間
- ・充電時間：約2時間

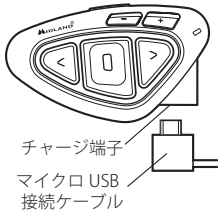
使い方

> ⚠ 使用時に、製品本体のゴムキャップを、確実に閉じてください。
> 接続端子に雨などが入り故障の原因になります。

充電のしかた

※ 本製品を使用する前に充電してください。
※ 充電器は、別途USB充電器をご用意ください。

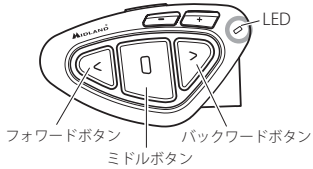
1. **本体のラバーカバーを開けて、チャージ端子にマイクロUSB接続ケーブルを接続する。**
2. **充電器とマイクロUSB接続ケーブルを接続する。**
   ※マイクロUSB接続ケーブルを差し込む向きにご注意ください
3. **充電器をコンセントに差し込んで、充電を開始する。**
   ※充電が開始されると赤色LEDが点滅します。
   ※充電が完了すると青色LEDが点灯します。
4. **本体からマイクロUSBプラグを外す。**
5. **ラバーカバーを元に戻す。**
   ※ラバーカバーの取り付けは完全に行ってください。浸水の原因となります。
   ※本製品をご購入時、充電完了まで約3時間かかる場合があります。通常の充電時間は、約2時間です。
   ※電源ONの状態でUSBプラグを接続した場合、電源が自動的にOFFになります。充電中に使用する場合は、USBプラグを接続後、再度電源をONにしてください。



電源のON／OFF

■電源を入れる

電源OFFの状態からミドルボタンを青色LEDが1回点灯するまで約3秒間押す。
※ 電源がONになると青色LEDがゆっくりと点滅します。



注意
- 長押し続けると赤色LEDが点灯し登録モードになります。その場合、再度電源OFFからやり直してください。

■電源を切る

ミドルボタンとバックワードボタンを赤色LEDが3回点滅するまで押す。
※ 赤色LEDが点滅し電源が切れます。

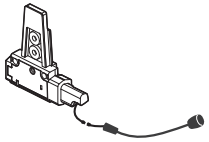
装着のしかた



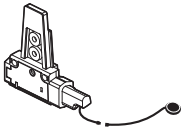
1. Hi-Fiスピーカーを取り付ける。
ヘルメット内部の耳に当たる部分に付属の両面テープとマジックテープでスピーカーを取り付けます。
【ヒント】
最近新しく発売されているヘルメットではスピーカー用のスペースがあらかじめ設けてある場合があります。

注意
- 取り付ける前に両方のスピーカーから音が出ていることを確認してください。スピーカーの位置が、音の聞こえ方に大きく影響します。
- 運転中に周囲の交通状況を聞けるよう、両耳を完全にふさいでしまうような取り付けかたをしないよう注意してください。

2. マイクを取り付ける。(2種類)。
マイクは、2種類付属しています。
ヘルメットタイプに適したマイクを装着してください。



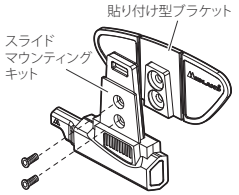
●ブームマイク：
オープンフェースタイプ、フロントフリップタイプのヘルメットに適したマイクです。マイクの根元に付いている両面テープとマジックテープで取り付けます。
指向性の高いマイクを使用しています。マイクの部分が、装着時に口の前に来るように取り付けてください。
白色のマークが口側に向くように取り付けてください。
風切りのノイズキャンセル機能を有効に活用できます。



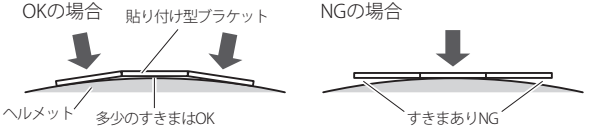
●ワイヤードマイク：
フルフェイスタイプのヘルメットに適したマイクです。マイクに付いている両面テープとマジックテープで取り付けます。
指向性の高いマイクを使用しています。マイクの部分が、装着時に口の前にくるように取り付けてください。

3. ヘルメットにスライドマウンティングキットを取り付ける。
スライドマウンティングキットを取り付けるブラケットは2種類同梱しています。
(貼り付け型ブラケット・クランプ型ブラケット)
【ヒント】
2つめのヘルメットへ装着する場合、スペアマウントを個別にご購入いただけます。
P21をご参照ください。
【ヒント】
お取り付けは貼り付け型ブラケットタイプがおすすめです。

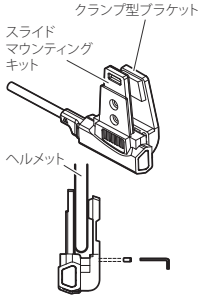
●貼り付け型ブラケットを使用する場合
※粘着シートで貼り付ける前に、本体をブラケットに取り付けた状態で最善の装着場所を確認してください。



① 貼り付け型ブラケットとスライドマウンティングキットを付属のネジ(2本)で締め付けます。
② ヘルメットの取り付け部分から油分などの汚れを除去して、きれいな状態にします。
③ 貼り付け型ブラケットの粘着シートのフィルムをはがし、装着面に貼り付けます。
粘着シートの両端を装着面に確実に取り付けてください。
しばらくそのまま固定して、装着を完全にしてください。

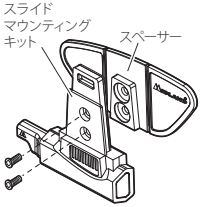


●クランプ型ブラケットを使用する場合
※ブラケットをネジで固定する前に、本体をブラケットに取り付けた状態で最善の装着場所を確認してください。



① クランプ型ブラケットとスライドマウンティングキットを付属のネジ(2本)で仮止めします。
② ヘルメットの下から挟み込み、ネジを締め付けます。

●スペーサーを使用する場合
スペーサーは、ヘルメットとのぐらつきを抑えるため(隙間を埋めるため)の部品です。
貼り付け型ブラケットと同じ形のスペーサーが同梱されています。
その状態でさらにクランプ型ブラケットを装着します。
※必要に応じてお使いください。

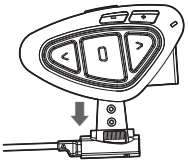


注意
- ブラケットは、あらゆる装着テストを基に設計、用意されていますが、本体のヘルメットからの脱着に伴う事故、破損、損失、故障は、保障範囲から外れます。十分注意して取り付けてください。

4. 本体を装着する

① 本体をスライドマウンティングキットに合わせ下にスライドさせます。

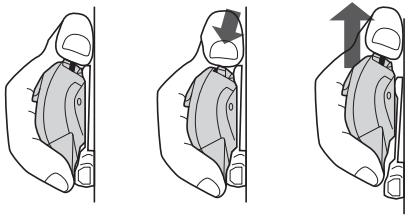
② ゆっくりと本体を押し込みます。
固定クリップにより本体が固定されます。" カチッ " と音がするまで押し込んでください。



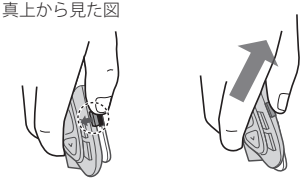
注意
- 装着は完全に行ってください。
本体が完全にスライドマウンティングキットに固定されていないと脱落する恐れがあり危険です。

●取り外すには
インカムをスライドマウンティングキットから取り外す際は、固定クリップを本体側に押し込みながら、上へスライドさせるように引き抜いてください。
無理に外そうとするとマウンティングキットの根元が折れたり、端子部のチャージピンが破損する要因となります。

真横から見た図



真上から見た図



操作モード

■インターカムモード
インターカム通話（個別通話）を行うときに使用するモードです。
フォワード、ミドル、バックワードボタンを使用して、登録された相手とのインターカム通話を開始します。
※ インカムを登録（ペアリング）するとインターカムモードへの切り替えができます。

■グループ通話モード
バイクライダー2～3人での同時通話をするときに使用するモードです。
※ フォワードまたはバックワードボタンにインカム登録（ペアリング）をすると、グループ通話モードへの切り替えができます。

■フォーンモード
携帯電話の応答や音楽、ナビなどBluetooth接続機器を聴くことができるモードです。
※ 携帯電話／ミュージックプレイヤー等を登録（ペアリング）するとフォーンモードへの切り替えができます。
※ 電話機を使用する場合は、自己の責任において、十分安全性を確保した上でご使用ください。

■FMラジオモード（ワイドFM局対応）
FMラジオを聞くモードです。ラジオ局をサーチすることができます。
※ 6局までメモリー登録できます。
対応周波数 76～108MHz

操作モードの切り替えかた
ミドルボタンを約3秒間押すごとに操作モードが切り替わります。
音声ガイダンスでモードを確かめながら、操作したいモードに変更してください。
※ 操作モードが切り替わる毎にインターカム、フォーン、FMラジオなどの音声ガイダンスが流れます。
※ 以下の場合はFMラジオモードのみアナウンスされます。
- シングルパックをご購入直後や本製品を初期化したとき
- 携帯電話・インカムなどが登録（ペアリング）されていないとき

※ 本体の電源投入時にモードが音声でアナウンスされます。
※ ボリューム⊕と⊖を同時に押すと現在のモードがアナウンスされます。



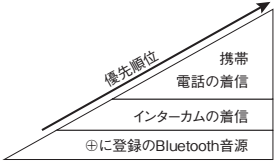
●操作一覧表

ボタン / モード	フォワードボタン	ミドルボタン	バックワードボタン
インターカム	長押し：他社製インカムとの通話開始	短押し：ミッドランドインカムとの通話開始/通話の終了 長押し：モード切替	短押し：ミッドランドインカムとの通話開始/通話の終了 長押し：－
グループ通話	短押し：ミッドランドインカムとの通話開始/終了 長押し：－	短押し：グループ通話開始 長押し：－	短押し：ミッドランドインカムとの通話開始/終了 長押し：－
フォーン (スタンバイ中)	【ボリューム⊕とペアリングした携帯電話】 短押し：ボイスダイヤル発信または、発信操作のキャンセル 長押し： リダイヤル発信（3秒長押し） 短縮ダイヤル発信（8秒長押し）	短押し：音楽の再生 長押し：モード切替	【ボリューム⊖とペアリングした携帯電話】 短押し：ボイスダイヤル発信または、発信操作のキャンセル 長押し：リダイヤル発信
フォーン (着信中／通話中)	【ボリューム⊕とペアリングした携帯電話】 短押し：着信の応答／通話の切断 長押し：着信の拒否	短押し：－ 長押し：モード切替	【ボリューム⊖とペアリングした携帯電話】 短押し：着信の応答／通話の切断 長押し：着信の拒否
フォーン (音楽再生中)	短押し：次の曲へ 長押し：－	短押し：音楽の一時停止 長押し：モード切替	短押し：前の曲または、曲の先頭へ 長押し：－
FMラジオ	短押し：上方向へのスキャン 長押し：次のメモリー登録した局へ	短押し：ラジオのON／OFF 長押し：モード切替	短押し：下方向のスキャン 長押し：前のメモリー登録した局へ

※長押し：キーを約３秒間押し続けてください。
※通話機のインカムが登録されていない状態ではインターカムモードへの移行ができません。（音声案内が出ません）
※ボリューム⊕または⊖にBluetooth機器が登録されていないとフォーンモードへは移行できません。（音声案内が出ません）

●各モードでの優先順位

本製品のインターカム通話およびオーディオソースは、次の優先順位に基づいて動作します。
1：携帯電話の着信
2：インターカム着信
3：携帯電話等の音楽再生もしくはＦＭラジオ再生
※ ボリューム⊕キーに登録されているBluetoothデバイスからの音楽再生中にインターカム着信または携帯電話で通話をすると、再生中の音楽は止まります。



ペアリングのしかた

１対１で個別に通話できる『インターカムモード』と、バイクライダー３人までの同時通話ができる『グループ通話モード』があります。
ご使用になりたいモードのペアリング方法に従って、ペアリングを行ってください。
※ ツインパックをご購入された方は、それぞれをミドルボタンに登録済みですので、ペアリング操作をする必要がありません。シングルパックを２個購入、または追加でシングルパックを購入した方は、次のペアリング操作が必要です。また、グループ通話でご使用になる場合は、再度ペアリングを行う必要があります。

インターカムモードで使用する（個別通話）

本製品は、１台のユニットにつき3台（ミッドランド社製：2台、他社製1台）までペアリングできます。
・【BT X1 PRO S同士のペアリング】の登録方法で、ミッドランドのインカムを2台ペアリングすることができます。
・【他社インカム製品とペアリングするには】の登録方法で、ミッドランドまたは他社インカム製品を1台ペアリングすることができます。

■BT X1 PRO S同士のペアリング

BT NEXT PRO, BT X2PRO S, BT X2PRO, BT X1PRO とのペアリングも可能です。
詳しくはホームページをご確認ください。

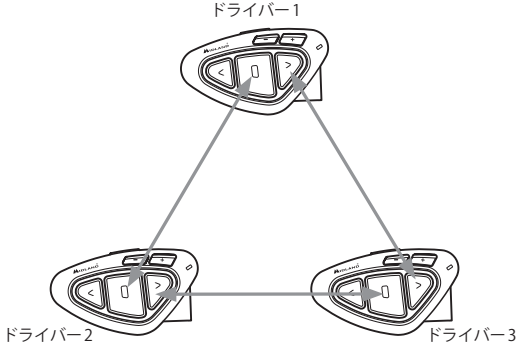
ペアリングは登録したいインカムを2台ずつ登録していきます。

1. **2台の本製品の電源をOFFにする。**
2. **2台のミドルボタンを赤色LEDが点灯するまで約７秒間押し続けて、セットアップモードにする。**
3. **2台の登録したいボタン（呼び出しボタン）を約３秒押して、ペアリングをスタートさせる。**
   ペアリングモードに入ると青色と赤色のLEDが交互に点滅します。
   ※ミドルボタン、バックワードボタンに登録できます。
   ※音楽をシェアする場合（16ページ）は、ミドルボタンに登録してください。
   ※ツインパックに別の製品を登録する場合は、バックワードボタンを選択してください。
   ※すでに登録済みのボタンを選択した場合は、登録が上書きされます。
   ※2台ずつペアリングを行っていきます。

4. **自動で登録操作が開始されます。**
※登録が完了すると、青色と赤色のLEDの点滅が終了し、赤色LEDが点灯します。
※続けて別のBT X1 PRO S（またはミッドランド製インカム）を登録する場合は、同様の手順を繰り返してください。

5. **ミドルボタンを２回押して、セットアップモードを終了する。**
※青色LEDがゆっくり点滅し使用できる状態となります。
※電源をOFFにしてもペアリングを終了できます。

【インターカムモード時の接続例】



（例）ドライバー1がミドルボタンを押すと、ドライバー2につながり話ができます。
ドライバー1とドライバー2が話している間、ドライバー3は会話には入れません。

■ユニバーサルインターカム機能

他社インカムと登録をする機能です。
登録時、ミッドランドはインターカムとして相手を登録しますが
相手側（他社側）は、ミッドランドを携帯電話として認識します。
ミッドランドが世界に先駆けて、市場投入した画期的なシステムです。
ペアリング後は通常のインターカム通信として交信しますので、インカムの実力通りの通信距離を確保する事が可能。

グループ通話には入れません。

Talk2All-Universal Intercom機能を使って他社インカム製品を登録します。
※ フォワードボタンに他社インカムを１台ペアリングできます。
※ ミッドランド製インカムもTalk2All-Universal Intercom機能を使って登録することができます。グループ通話には入れません。

注意
- ペアリングさせる２台の機器のみ電源が入っている状態で行ってください。

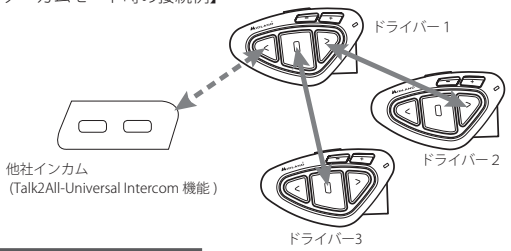
1. **本製品の電源をOFFにする。**

2. **ミドルボタンを赤色LEDが点灯するまで約７秒間押し続けて、セットアップモードにする。**

3. **フォワードボタンを約７秒押し続けて、ペアリングモードにする。**
※ペアリングモードに入ると青色と赤色のLEDが、早い点滅が始まりゆっくりした点滅へと変わります。
【ヒント】
LEDが早い点滅状態で手をはなしてしまった場合、電源をOFFにしてからやり直してください。

4. **他社インカム製品を操作してBT X1 PRO Sとペアリングする。**
①他社インカム製品を携帯電話とペアリングするのと同じ手順で操作します。
②自動的に登録操作が開始されます。
③本製品と他社インカム製品の登録が完了すると青色LEDがゆっくりと点滅します。
※他社インカム製品に携帯電話が登録されていると、ペアリング時、上書きされます。
※ミッドランド製インカムを他社インカム製品として登録する場合、携帯電話のペアリング方法でペアリングします。
※詳しくは、他社インカム製品の取扱説明書を参照してください。

【ユニバーサルインターカムモード時の接続例】

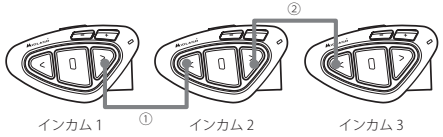


グループ通話モードで使用する

■2人～3人でグループ通話使用時のペアリング方法

【BT X1 PRO S同士のペアリング】(10ページ)の手順に従って、下図の様にチェーン構成でペアリングを行ってください。

【3人でグループ通話する場合の接続例】



【登録手順】

① インカム 1 のバックワードボタンとインカム 2 のフォワードボタンをペアリングする。
② インカム 2 のバックワードボタンとインカム 3 のフォワードボタンをペアリングする。

※ 上図のチェーン構成は、全て BT X1 PRO S で構成した例です。
※ すべてのインカムをグループ通話モードにする必要があります。
※ インカム 1 のフォワードボタンとインカム 3 のバックワードボタンはペアリングしないでください。
※ グループの人数が減りチェーン構成が途切れた場合は、再度ペアリングしてください。

【ヒント】
グループ通話モードは常に会議が行われているイメージです。3人接続の場合、自分は話していなくても、常に他の2人の声が聞こえる設定です。
上記接続例の場合、インカム2が圏外になるとインカム1と3は誰とも話せなくなります。

【ヒント】
メインで参加する方をインカム2に設定し、不定期に参加する方をインカム1、3に設定すると、ペアリングをしなおす手間が減ります。

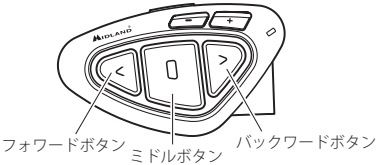
インターカムの使用方法

1 対 1 で個別に通話できる『インターカムモード』と、合計3人まで同時に通話できる『グループ通話モード』があります。

インターカムモード(個別通話)
グループ通話モード(合計3人まで同時通話)
※ 本体の電源を入れ、ペアリングを完了してください。(11ページ参照)

■ グループ通話設定を ON/OFF にするには (操作モードをインターカム、またはグループ通話モードに切り替える)

※ ミドルキーとフォワードキーの 3 秒長押しで、グループ通話モードへ移行
(音声案内で確認可能)インターカムモード、フォーンモード、FM ラジオモード、どのモードからも移行が可能(インカム通話時を除く)
グループ通話設定 ON :"グループ通話モード" とガイダンスされます。
グループ通話設定 OFF :"インターカムモード" とガイダンスされます。
【ヒント】
フォワードキー又はバックワードキーにインカム登録(ペアリング情報)が無いとグループ通話モード切り替えができません。



インターカムモード(個別通話)時の操作方法

■マニュアル操作

※ 呼び出す側はインターカムモードで操作してください。

ミッドランドのインカムとインターカム通話する場合

●インターカム通話するには(呼び出す)
呼び出したい相手を登録したボタン(ミドル、バックワードボタン)を押します。
※数秒後にビープ音が聞こえ、インターカム接続が行われます。接続完了した状態で会話が可能です。

●インターカム通話をやめるには(切る)
インターカム通話開始時と同じボタンを再度押します。
※ビープ音が聞こえ、インターカム通話を終了します。
※相手が切るとインターカム通話は終了します。

他社製インカムとインターカム通話する場合
ミッドランドインカムの操作

●インターカム通話するには（呼び出す）
呼び出したい相手を登録したボタン（フォワードボタン）を長押し（約3秒）します。
※ 数秒後にビープ音が聞こえ、インターカム通話が開始されます。

●インターカム通話をやめるには（切る）
インターカム通話開始時と同じボタンを再度押します。
※ ビープ音が聞こえ、インターカム通話を終了します。

他社インカム製品からの発信

●インターカム通話するには、リダイヤル発信と同じ操作をします。

●インターカム通話をやめるには、携帯電話を終話する操作と同じです。
※詳しくは、他社インカム製品の取扱説明書を参照してください。

■ボイスアクティベーション（VOX）操作
※調整は18ページ参照

“もしもし”等マイクに向かって話しかけるとインターカム通話を開始することができます。

注意
- ミドルボタンに登録されたミッドランド製インカムのみ、呼び出しが可能です。ミドルボタンにインカム登録が無い場合はオンオフの設定、機能の動作は出来ません。
- 工場出荷設定はインカムVOX OFFになっています。

インターカム通話するには
マイクに向かって話しかけます。
※ 数秒後にビープ音が聞こえ、インターカム通話が開始されます。

●インターカム通話をやめるには
登録したボタン（ミドルボタン）を押します。

●ボイスアクティベーション設定（ON/OFF）を一時的に切り替えるには
バックワードボタンを “ボックス機能オン” または “ボックス機能オフ” がガイダンスされるまで約7秒間押します。
※ バックワードボタンを長押しするたびににON/OFFが交互に変わります。希望した設定にならなかった場合は、再度バックワードボタンを長押ししてください。
※ フォワードボタン、もしくはバックワーボタンのみに、インカム登録がある場合はバックワードボタンを長押ししても、ボックス機能オン/オフのガイダンスは流れません。
※ FMラジオモードでは、ラジオをOFFにしてから操作してください。

■インターカム通話中の呼び出しお知らせ機能

●相手がインターカム通話中の場合
インターカム通話したい相手が他のインターカム通話中、ビジー音がなります。

●インターカム通話中、他のインターカムから呼び出しがあった場合
呼び出しがあったインターカムの番号（1～3）が音声ガイダンスによって通知されます。



ガイダンス	通話する為に押すボタン
1	ミドルボタン
2	バックワードボタン

グループ通話モード時の操作方法

グループ通話（同時に通話）する場合は、3台の対象となるインカムはグループ通話モードをONにして下記の操作方法で操作します。

注意
- ペアリングは、必ず【2人～3人でグループ通話使用時のペアリング方法】（12ページ）のチェーン構成で行ってください。
- グループ通話使用時は、以下のことができない仕様となっています。
  - ・ボリューム⊕にペアリング接続された携帯電話等デバイスの使用
  - ・他社のインターカムを含めた会議通話
  - ・ミドルボタンに登録したインターカムとの通信
  - ・ボイスアクティベーション機能の使用
  - ・FMラジオの使用

■3人までのグループ通話を開始する

●ワンクリックトークファンクション
ミドルボタンを押すことにより、ワンクリックでグループ通話することができます。

●インターカム通話するには（グループ通話）
グループ通話モードでインカムが登録されているボタン（フォワードまたはバックワードボタン）を使用して、それぞれ個別にインターカム呼出しを行います。接続が完了した相手から順番に会議通話できます。

●インターカム通話を終了するには（グループ通話）
通話を終了したい相手が登録されているボタン（フォワードまたはバックワードボタン）を押すと、通話を切断することができます。

■3人目を追加したい場合



例えば、BT X1 PRO S を2台購入された方、会話のグループを3人に増やしたい方は、追加で、BT X1 PRO S（又はBT NEXT PRO, BT X2PRO S, BT X2 PRO）をご購入して頂き3人目に接続が可能です。

■4人目を追加したい場合



BT X1 PRO S を3台ご購入された方で、4人目を追加されたい場合追加のモデルは、BT NEXT PROか、BT X2 PRO, BT X2 PRO S をご指定ください。

■4人以上のグループ通話を行いたい場合



BT TALK スマートフォンアプリ（無料）をご使用になることがお勧めです。
接続の仕方は、お持ちのBT X1 PRO S とBT TALK アプリが入ったスマートフォンをペアリング。この際に、スマートフォンは、BT X1 PRO S のボリュームプラスにペアリング。
スマートフォンの電話帳と連動して、相手の連絡先を探しご自分の連絡手段にあったグループを作成して一斉交信が可能となります。



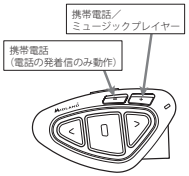
同じアプリを持っている方の人数制限はありません。従って、2人以上例えば30人のグループでの会話も可能となります。
事実上携帯電話のパケット通信を使用して連絡をしていますので、携帯電話のネットワークがある範囲内では、（例えば海外でも）距離無制限となります。
スマートフォンの画面が、PTT（発呼）ボタンとなっています。別売りのBTT ボタンをご使用頂き、PTT（発呼）される事をお勧め致します。

＊スマートフォンアプリは、iPhone かアンドロイド携帯対応となります。

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

携帯電話/ミュージックプレイヤー/ナビとのペアリング（Bluetooth）



携帯電話／ミュージックプレイヤーとのペアリング操作は、ボリューム⊕ボタンを使用します。また、ボリューム⊖ボタンを使用してさらにもう一台の携帯電話を登録できます。
ペアリングが完了後、フォーンモードがアクティブになります。
※ 携帯電話に着信があった場合、着信を優先させるため、音楽の再生、FMラジオは中断されます。
※ ボリューム⊖ボタンに登録した携帯電話は、発着信および通話が可能ですが、携帯電話の音楽等を聴くことはできません。携帯電話の音楽等を聴きたい場合は、必ずボリューム⊕ボタンに登録してください。
※ ボリューム⊕と⊖ボタンにそれぞれ1台のBluetooth機器を接続できます。
※ ボリューム⊕ボタンにA2DP/HFP/AVRCR対応のBluetoothデバイスを接続できます。
ボリューム⊖ボタンにHFP/HSP対応のBluetoothデバイスを接続できます。
※ 携帯電話とGPSナビを同時に接続したい場合は、携帯電話をボリューム⊖ボタンとペアリングをしてください。
※ ２台の携帯電話をペアリングする場合は、バックグラウンドフィーチャーをOFFにして使用してください。

ペアリングのしかた

1. **電源をOFFにする。**
2. **ミドルボタンを赤色LEDが点灯するまで、長押し（約7秒間）する。**
3. **ボリューム⊕またはボリューム⊖ボタンを長押し（約3秒）してペアリングモードにする。**
   ボリューム⊕ボタン：携帯電話／ミュージックプレイヤー
   ボリューム⊖ボタン：携帯電話
   ※ペアリングモードに入ると青色と赤色のLEDが交互に点滅します。
4. **携帯電話などのマニュアルに従って、Bluetooth検索をONにする、またはペアリング状態にする。**
   ※携帯電話に本製品が認識されると、携帯電話にMidland BTX1 PRO Sと表示されます。
5. **Midland BTX1 PRO Sを選択し、PIN CODE（0000）を入力する。**
   ※携帯電話などのBluetoothデバイスの登録方法及び操作については、それぞれ付属のマニュアルを参照してください。
   ※登録が完了すると、自動でペアリングモードから抜け、青色LEDがゆっくり点滅し、使用できる状態となります。
   ※PIN CODEを要求しない携帯電話もあります。

操作方法

スマートフォンをボリューム⊕ボタンに登録した場合フォーンモードの時、リダイヤル発信、着信応答、Siriの操作、音楽を聞くなどの操作ができます。
※ フォーンモードにするには、ミドルボタンを“フォーンモード”とアナウンスされるまで長押し（約3秒間）します。操作方法は、操作一覧表（10ページ）を参照してください。

携帯電話の着信に応答するには

着信に応答する方法は2通りあります。
A：“もしもし”などの単語をマイクに向かってしゃべると自動で応答できます。
（ボイスアクティベーション機能 ※感度調整は19ページ参照）
※この機能は、着信音が3回聞こえたあと動作します。
※携帯電話がこの機能サポートしている必要があります。
※詳しくはP13、P19ボイスアクティベーション設定をご確認ください。
B：インカムのボタンを押して、着信に応答できます。
携帯電話（ボリューム⊕に登録）：フォワードボタンを押す。
携帯電話（ボリューム⊖に登録）：バックワードボタンを押す。
【ヒント】
インターカムモードでは、携帯電話の着信にだけ応答できます。

着信中の電話に出たくない場合

着信中の電話に出たくない場合は、ピッと音が鳴るまでインカムのボタンを押します。
携帯電話（ボリューム⊕に登録）：フォワードボタンを３秒間押す。
携帯電話（ボリューム⊖に登録）：バックワードボタンを３秒間押す。

電話をかける

電話のかけ方は3通りあります。
A：携帯電話を使用して電話をかけます。
B：リダイヤル機能を使用して電話をかけたい場合、
携帯電話（ボリューム⊕に登録）：フォワードボタンを３秒間押します。
携帯電話（ボリューム⊖に登録）：バックワードボタンを３秒間押します。
※操作モードは、必ずフォーンモードにしてから操作してください。
C：以下の手順により、音声認識を使用して電話をかけることができます。
例：iPhoneのSiriなど
① 携帯電話をボリューム⊕に登録した場合はフォワードボタン、ボリューム⊖に登録した場合はバックワードボタンを短押しします。（例：Siriが起動します。）
② マイクに向かって「○○に電話してください。」と話します。
※ 携帯電話の音声認識機能を使用するため、携帯が音声認識機能に対応している必要があります。
※ 音声認識の精度は、携帯電話の音声認識機能に依存します。

電話を切る

通話中の電話の切り方は3通りあります。
A：相手が電話を切るまで待つ。（自動的に電話が切れます。）
B：インカムのボタンを押して電話を切る。
携帯電話（ボリューム⊕に登録）：フォワードボタンを押す。
携帯電話（ボリューム⊖に登録）：バックワードボタンを押す。
C：携帯電話を操作して電話を切る。

短縮ダイヤルを使う

短縮ダイヤルを１つ登録することができます。
短縮ダイヤルの登録は、BTUPDATER（WinPCソフト）またはBTSETアプリ（アンドロイド専用）を使用して登録します。短縮ダイヤルの登録方法等は、BT UPDATERまたはBTSETアプリの説明書を参照してください。
BTUPDATER、BTSETアプリのインストール方法および使用方法は、以下のURLを参照してください。

BTUPDATER：
http://www.midlandradio.jp/support/dl.html

BTSETアプリ：
http://www.midlandradio.jp/support/manual.html

1. BTUPDATERまたは、BTSETアプリを使用して短縮ダイヤルを設定する。
2. フォーンモードで電話の呼び出し音が聞こえるまでフォワードボタンを約７秒間押す。
※短縮ダイヤルは、ボリューム⊕に登録された携帯電話のみで動作します。
また、短縮ダイヤルが登録されている場合のみ動作します。
※短縮ダイヤルをキャンセルしたい場合は、フォワードボタンを押します。

携帯電話または、ミュージックプレイヤーの音楽を聴く

※ 操作モードを必ず、フォーンモードにしてから操作してください。

●操作のしかた



※ 音楽を聴いている最中に着信があったりインターカム呼出されたりした場合は、音楽再生が中断されます。

音楽をシェアする（ライダーとパッセンジャー）

ライダーの聞いている音源をパッセンジャーが一緒に聞くことができる機能です。
※ インターカム通話、電話で通話中に音楽をシェアすることはできません。
※ ミュージックシェアできるインカムは、ドライバーのインカムのミドルボタンにペアリングされたインカムのみです。
※ ミュージックシェア中のインカムとの最大通信距離は10ｍです。

●ミュージックシェアを開始する

1. **ミドルボタンを３秒間押し、パッセンジャーのインカムをインターカムまたはフォーンモードにする。**
2. **ミドルボタンを３秒間押し、ライダーのインカムをフォーンモードにする。**
3. **ライダーのインカムのミドルボタンを押し、音楽を再生する。**
4. **ライダーのバックワードボタンを３秒間押す。**
   パッセンジャーと音楽をシェアが開始されます。

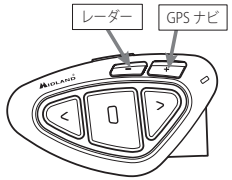
●ミュージックシェアをやめる

ライダーのバックワードボタンを長押しする。
または、パッセンジャーのミドルボタンを押す。

●ミュージックシェア中に通信相手を呼び出す。

ライダーもしくはパッセンジャーのミドルボタンを２回押すと、インカム通話呼び出しが可能です。
※インカム通話中に音楽を聴くことはできません。

GPSナビ／レーダーとのペアリング（Bluetooth）



Bluetooth接続ができるオートバイ用GPSナビ／レーダーは、本機とペアリングすることができます。
※ ボリューム⊕と⊖ボタンにそれぞれ１台のBluetooth機器を接続できます。
※ ボリューム⊕ボタンにA2DP/HFP/AVRCR対応のBluetoothデバイスを接続できます。
ボリューム⊖ボタンにHFP/HSP対応のBluetoothデバイスを接続できます。

●ペアリングするには

ボリューム⊕にGPSナビ、⊖ボタンにレーダーをペアリングします。

ペアリングのしかた

1. **電源をOFFにする。**
2. **ミドルボタンを赤色LEDが点灯するまで約７秒間押し続けて、セットアップモードにする。**
3. **登録したいボタン（ボリューム⊕／ボリューム⊖）を約３秒押して、ペアリングモードにする。**
   ※ペアリングモードに入ると青色と赤色のLEDが交互に点滅します。
4. **Bluetooth機器のマニュアルに従って、Bluetoothのサーチを ONにし、下記のインカム名称を選択する。**
   ※ペアリング時にBluetooth機器（レーダー等）に表示されるインカム名称は、以下のとおりです。
   ボリューム⊕/⊖ボタン：Midland BTX1 Pro S **/**/**
   （*には任意の数字が入ります。）
5. **PIN CODE（0000）を入力する。**
   ※ペアリングが完了すると、フォーンモードがアクティブになります。

※ 登録するデバイスのペアリング方法及び操作については、製品付属のマニュアルを参照してください。
※ 登録が完了すると、自動でペアリングモードから抜け、青色LEDがゆっくり点滅し、使用できる状態となります。

ペアリング情報のリセット

本製品に登録した接続機器の全てのペアリング情報をリセットします。
※バッテリーが十分に残っている状態で行ってください。

1. **電源をOFFにする。**
2. **ミドルボタンを赤色LEDが点灯するまで約7秒間押し続け、セットアップモードにする。**
3. **ボリューム⊕とボリューム⊖ボタンを同時に約3秒間押し続けるとペアリング情報をリセットします。**
   ※青色LEDが1秒点灯し、接続機器情報のリセットが開始されます。
   ※ペアリング情報のリセットが終了すると、赤色LEDが点灯します。
4. **ミドルボタンを2回押す。**
   セットアップモードを終了します。

【ヒント】
ペアリング情報のリセットを行うとインターカムモード、フォーンモードの音声案内も消えます。再度、ペアリングを行うと音声案内が設定されます。

【ヒント】
※ ボリューム⊖には、ステレオ音源のBluetoothデバイスは登録できませんが、iPhoneのようなスマートフォンの電話発着信のみ対応可能です。

FMラジオを聞く

本製品でFMラジオを聞くことができます。
ミドルボタンを3秒間押し、操作モードをFMラジオモードにして10ページの「操作一覧表」のように操作してください。

FMラジオをON／OFFする

ミドルボタンを押してON／OFFを切り替えます。
※ ラジオがONの場合：ホワイトノイズ、または受信している放送が聞こえます。
ラジオがOFFの場合：何も聞こえません。

受信可能なFM放送局を探してラジオを聞く

1. **ミドルボタンを押して、ラジオをONにする。**
2. **フォワードボタン(seek up)またはバックワードボタン(seek down)を押す。**
   受信可能なFM局を探して受信できる局で止まります。
   ※放送局を探している間、無音状態になります。

よく聞くFM局を登録する

6局までメモリー登録できます。

1. **ミドルボタンを押して、ラジオをONにする。**
2. **フォワードボタンまたはバックワードボタンを長押しして、登録したいメモリーを選ぶ。**
   メモリー番号がガイダンスされるので、登録したいメモリー番号を選択してください。
3. **フォワードボタン(seek up)またはバックワードボタン(seek down)を押して登録したいラジオ局を探す。**
4. **受信中にフォワードボタンとバックワードボタンを同時にピッと音がなるまで約3秒間押す。**
   選択したメモリーに登録されます。

登録したFM局を聞く

1. **ミドルボタンを押して、ラジオをONにする。**
2. **フォワードボタンまたはバックワードボタンを長押しする。**
3. **メモリー番号がガイダンスされるので、選局したいメモリー番号までフォワードボタンまたはバックワードボタンを長押しする。**

FMラジオを使用しない

操作モード切替時、FMラジオモードを出てこないようにすることができます。
※ “FMラジオを使用しない “を設定した場合、FMラジオが聞けなくなります。

●設定方法

1. **電源をOFFにする。**
2. **ミドルボタンを赤色LEDが点灯するまで約７秒間押し続け、セットアップモードにする。**
3. **ミドルボタンとボリューム⊕ボタンを同時に３秒間押す。**
   青色LEDが３回点滅：FMラジオを使用しない
   青色LEDが１回点灯：FMラジオを使用する
   ※希望した設定にならなかった場合、ミドルボタンとボリューム⊕ボタンを再度同時に３秒間押してください。
4. **ミドルボタンを２回押して、セットアップモードを終了する。**

●FMラジオモードでのインターカム通話

※ FMラジオモードの際、ミドルボタンに登録されている相手にのみボイスアクティベーション機能を使用してインターカム呼び出しができます。
※ 登録相手への誤発信防止のため、工場出荷状態ではこの機能はOFF設定です。設定変更はBTアップデータPROにて可能です。
※ マニュアル操作で通話相手を呼び出す場合は、必ず操作モードをインターカムモードにして操作してください。

【ヒント】
BTX1 PROSは左耳のスピーカーとマイクまでのケーブルをFMラジオのアンテナとして代用しています。登録の際、受信しにくい場合はスピーカー、マイク、ワイヤーをヘルメットから出して視聴することをおすすめします。

【ヒント】
FM局の登録はパソコン用ソフト「MIDLAND BT UP DATER」でも設定できます。パソコンキーボードでの周波数登録が簡単でおすすめです。

ボリュームの調整（AGC機能）

本機は周囲の雑音に合わせ、自動的にボリュームを調整します。
手動での調整はボリューム⊕／ボリューム⊖ボタンを押してください。
※ AGC機能により、車速度が速くなるとボリュームが大きくなります。

●AGC機能のON/OFFを切り替える

ボリューム⊕と⊖を同時に３秒間押します。
AGC設定がON：“AGCオン” とガイダンスされます
AGC設定がOFF：“AGCオフ” とガイダンスされます
※希望した設定にならなかった場合、再度ボリューム⊕と⊖を同時に３秒間押してください。
※FMラジオモードでは、ラジオをOFFにしてから操作してください。

【ヒント】
パソコンでBTセットアップモードを使っての設定が簡単でおすすめです。

その他の機能

ボイスアクティベーションの調整

ボイスアクティベーション機能は、周囲の環境音の影響を受けますので、万が一、誤動作をした場合に調整を行ってください。
ボイスアクティベーションの工場出荷設定は、携帯着信「ON」インカム発信「OFF」となっています。
感度の設定は、感度１～４、OFFの５つの中から選択できます。
OFFを選択した場合、ボイスアクティベーション機能が無効となります（一時的なON／OFF切替含む）。

1. **電源をOFFにする。**
2. **ミドルボタンを赤色LEDが点灯するまで約７秒間押し続け、セットアップモードにする。**
3. **バックワードボタンを押す。**
   ※青色LEDが点灯します。
4. **ボリューム⊕（感度が高い方向）または、ボリューム⊖（感度が低い方向）ボタンを使用して、感度を調整します。**
   ※ボリュームボタンを押すたびに赤色LEDが点灯します。
   ※感度が上限（ハイ）または下限（ロー）になった場合、赤色LEDが点灯しません。

5. 感度調整が終了したら、バックワードボタンを押す。

※設定された感度に従い青色LEDが点滅します。
- 1回の点滅：ボイスアクティベーション機能のOFF
- 2回の点滅：感度1（最低感度）
- 3回の点滅：感度2
- 4回の点滅：感度3
- 5回の点滅：感度4（最高感度）

その後、赤色LEDが点灯し、セットアップモードになります。

※希望した設定になっていなかった場合、手順3から始めてください。

6. ミドルボタンを2回押して、セットアップモードを終了する。

【ヒント】
パソコンでBTUPDATERを使っての設定が簡単でおすすめです。

インカム設定ソフトウェア

WindowsPC用のBTアップデーターPRO（Windows 7以降）とAndroid OS用（Android 4.0以降）のBTSETアプリを使用して、FMラジオのメモリー登録、短縮ダイヤル、AGCのON/OFF等を設定することができます。設定にはBTアップデーターPROを使用してください。

BTUPDATER、BTSETアプリのインストール方法および使用方法は、以下のURLを参照してください。

BTUPDATER： http://www.midlandradio.jp/support/dl.html
BTSETアプリ：http://www.midlandradio.jp/support/manual.html

ソフトウェア(Firmware)のアップデート

PCと本製品をUSBケーブルで接続し、ソフトウェア(Firmware)をアップデートできます。ミッドランドのホームページの下記アドレスからPCソフトウェア、アップデートマニュアル、ソフトウエア（Firmware）をダウンロードしインストールしてください。

Webサイト：http://www.midlandradio.jp/support/dl.html

※ アップデート用PCソフトウェアをPCにインストール中は、PCと本製品を接続しないでください。
※ 現時点では、Windows PC（Windows 7以降）のみアップデートが可能です。
※ バッテリーが十分ある状態で行ってください。

工場出荷状態に戻す

※ バッテリーが十分に残っている状態で行ってください。

1. 電源をOFFにする。

2. ミドルボタンを赤色LEDが点灯するまで約7秒間押し続け、セットアップモードにする。

3. フォワード、ミドル、バックワードボタンを同時に3秒間押す。

※青色LEDが点灯し、初期化が開始されます。
※初期化が終了すると赤色LEDが点灯します。

4. ミドルボタンを2回押して、セットアップモードを終了する。

※工場出荷状態にすると全てのペアリング情報はリセットされます。

こんなときは？

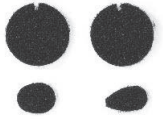
こんな時は？	ここを確かめてください
通話相手にこちらの声が聞こえない	本体にマイクが確実に取り付けられているか確認してください。
	マイクの白色のマークが口側に向いているか確認してください。
	マイクと口の間隔を5mm程度にしてください。
通話相手の声が聞こえない	高音質Nd Hi-Fi スピーカーの音量を上げてください。
	オーディオキットが本体に正しく接続されているか確認してください。
BT X1 PRO Sが携帯電話とうまく連動しない	本機の電源がONになっているか確認してください。
	バッテリーが十分に充電されているか確認してください。
	携帯電話が通話可能かどうか確認してください。
	携帯電話のBluetooth機能がONになっているか確認してください。
	本機と携帯電話のペアリングが正常に完了しているか確認してください。
過度の風切音	風の影響の少ない場所へマイクを移動させてください。

総代理店：株式会社LINKS
〒604-8025　京都市中京区下大阪町349-6 イシズミビル7F
info@linksofjapan.jp
http://www.midlandradio.jp

製 造 元：Midland Radio Corporation
http://www.midlandradio.com

アクセサリー

名称	型番	
BTTボタン (別売品)	C1238	
BT PRO Nd Hi-Fiスピーカー (スペア)	C1294.10	
BT PROジェットヘルメット用 マイクスポンジ (スペア)	84-01	
BT PRO マイクロUSB充電ケーブル (1対1) (スペア)	L1340	
BT PRO マイクロUSB充電ケーブル (1対2) (スペア)	L1341	
BT PRO フルフェイス用 ワイヤーマイク (スペア)	L1343	
BT PRO ジェットヘルメット用 ブームマイク (スペア)	L1344	

名称	型番	
BT PRO 取付クランプ (2種類) (スペア)	L1345	
BT PRO LEDマウント (スペア)	L1347	
BT PRO 取付クランプ (粘着タイプ) (スペア)	L1371	
BT PRO スピーカー・マイク 面ファスナーテープ (スペア)	L1372	
BT PRO ブームマイク (オープンヘルメット用) (別売品)	C1253	
BT PRO 充電アダプター (別売品)	L1339	

J



- **INFORMAZIONE AGLI UTENTI**: i sensi dell'art. 13 del decreto legislativo 25 luglio 2005, n.151 "Attuazione delle Direttive 2002/95/CE, 2002/96/CE e 2003/108/CE, relative alla riduzione dell'uso di sostanze pericolose nelle apparecchiature elettriche ed elettroniche, nonché allo smaltimento dei rifiuti".

  Il simbolo del cassonetto barrato riportato sull'apparecchiatura indica che il prodotto alla fine della propria vita utile deve essere raccolto separatamente dagli altri rifiuti. L'utente dovrà, pertanto, conferire l'apparecchiatura giunta a fine vita agli idonei centri di raccolta differenziata dei rifiuti elettronici ed elettrotecnici, oppure riconsegnarla al rivenditore al momento dell'acquisto di una nuova apparecchiatura di tipo equivalente, in ragione di uno a uno. L'adeguata raccolta differenziata per l'avvio successivo dell'apparecchiatura dismessa al riciclaggio, al trattamento e allo smaltimento ambientalmente compatibile contribuisce ad evitare possibili effetti negativi sull'ambiente e sulla salute e favorisce il riciclo dei materiali di cui è composta l'apparecchiatura. Lo smaltimento abusivo del prodotto da parte dell'utente comporta l'applicazione delle sanzioni amministrative di cui al dlgs. n.22/1997 (articolo 50 e seguenti del dlgs. n.22/1997).
- All articles displaying this symbol on the body, packaging or instruction manual of same, must not be thrown away into normal disposal bins but brought to specialised waste disposal centres. Here, the various materials will be divided by characteristics and recycles, thus making an important contribution to environmental protection.
- Alle Artikel, die auf der Verpackung oder der Gebrauchanweisung dieses Symbol tragen, dürfen nicht in den normalen Mülltonnen entsorgt werden, sondern müssen an gesonderten Sammelstellen abgegeben werden. Dort werden die Materialien entsprechend ihrer Eigenschaften getrennt und, um einen Beitrag zum Umweltschutz zu liefern, wiederverwertet.
- Todos los artículos que exhiban este símbolo en el cuerpo del producto, en el embalaje o en el manual de instrucciones del mismo, no deben ser desechados junto a los residuos urbanos normales sino que deben ser depositados en los centros de recogida especializados. En estos centros, los materiales se dividirán en base a sus características y serán reciclados, para así poder contribuir de manera importante a la protección y conservación del medio ambiente.
- Tous les articles présentant ce symbole sur le corps, l'emballage ou le manuel d'utilisation de celui-ci ne doivent pas être jetés dans des poubelles normales mais être amenés dans des centres de traitement spécialisés. Là, les différents matériaux seront séparés par caractéristiques et recyclés, permettant ainsi de contribuer à la protection de l'environnement.
- Όλα τα προϊόντα στα οποία εμφανίζεται το ακόλουθο σύμβολο στο σώμα, τη συσκευασία ή το εγχειρίδιο χρήσης τους, δεν πρέπει να εναποθέτονται στους κοινούς κάδους απορριμάτων αλλά να προσκομίζονται στα ειδικά κέντρα αποκομιδής. Εκεί, τα διάφορα υλικά θα πρέπει να διαχωρίζονται ανάλογα με τα χαρακτηριστικά και τα ανακυκλούμενα υκλικά, συμμετέχοντας έτσι ουσιαστικά στην προστασία του περιβάλλοντος.



Prodotto o importato da: **CTE INTERNATIONAL srl**
Via. R.Sevardi 7 42124 Reggio Emilia - Italia.

Prima dell'uso leggere attentamente le istruzioni.

Produced or imported by: **CTE INTERNATIONAL srl**
Via. R.Sevardi 7 42124 Reggio Emilia - Italy.

Read the instructions carefully before installation and use.

Vertrieb durch: **ALAN ELECTRONICS GmbH**
Daimlerstraße 1K - D-63303 Dreieich Deutschland.

Vor Benutzung Bedienungsanleitung beachten.

Importado por: **ALAN COMMUNICATIONS, SA**
C/Cobalt, 48 - 08940 Cornellà de Llobregat, Barcelona - España.

Antes de utilizar, lea atentamente el manual de uso.

www.midlandradio.jp

MIDLAND®

MM0020.01